

「温故知新」の夏

キックマンアリーナでの葛北バレーボール大会の応援を終え、次の会場に向かうため車内に急いで戻りました。あまりの暑さに一刻も早くエアコンを、とエンジンをかけると、外気温の表示が45℃。駐車場の路面からの照り返しも加わっているのでしょうか、異常な数値。ともかく連日の猛暑です。

一方、地球温暖化の影響からか、各地で大雨による被害も頻繁に起こっています。今月7月10日に福岡県、佐賀県、大分県で発生した記録的な大雨で9の方が亡くなりました。また、先日は秋田県でも豪雨による河川氾濫や浸水の被害に見舞われています。具体的な数字や「被害」と言ったひとまとめの言葉の背後に、たくさんの方々の悲しみが隠れています。自然災害による被害を最小限に食い止めることの重要性を改めて強く感じます。豪雨被害に遭われた方々には、心よりお見舞い申し上げます。

子ども達の元気な姿、成長している姿を目の当たりにできるのも、安心・安全があつてのこと。学校でもこれまでの自然災害の経験・教訓を十分に振り返り、それらを生かしていく必要があります。そして、今後、子ども達自身が自ら判断し、対応できる力を身につけさせるべく指導を重ねてまいります。

ご家庭においても、子ども達が自分の身は自分で守れるよう、また、いざというときは、地域の「共助」の担い手となれるよう、お話しいただきたいと思えます。日本には、昔から次世代に受け継がなければならない「困ったときはお互い様」という素晴らしい言葉があります。

6月7日～9日の3日間、福島県で林間学園を実施した2年生。コロナの影響もあり、宿泊を伴う校外学習はこれが初めてだった子ども達は、3日間楽しく、充実した日々を過ごしてきました。

その初日、いわき市の「震災伝承みらい館」では、12年前に発生した「東日本大震災」についてお話を聞いたり、展示物を見学したりして学習。そして、その後バスに乗車し、実際にこの場で震災を体験された語り部の方々からお話を伺うことができました。

語り部の方には、海岸の砂浜までご案内いただき、当時の状況を具体的に再現しながらお話しいただきました。地震直後に、海を見たときの光景について「津波が来る前に、水平線のあたりまで海の底が見えた」「私が当時の持ち物で唯一残っているものは、この腕時計だけ」などなど。子ども達は様々なお話に固まってしまう。想像を絶する光景が、今、自分達がいるこの場所で、自分達が生まれて間もない12年前に広がっていた。そのことを砂浜から伝わる足の感覚で感じている子ども達。

津波の恐ろしさはもとより、「命」や「生きることの意味」「何としてでも生きるという意志」など、大切なことをたくさん教えていただきました。次は、林間学園後の男子2人の報告書からの抜粋です。

◆ガイドさんはこのように教えてくださいました。「東日本大震災で多くの人々の命が奪われ、多くの人々を傷つけ、悲しませ、苦しませました。皆さんも自分には関係がなくても、この事は忘れないで欲しいです。」僕は具体的に何人の人がお亡くなりになり、何人の人が傷つき、何人の人が悲しみや苦しみを味わったか知りませんでした。唯一知っていたのは3月11日に大地震が起こったという事のみ。それ以外はほぼ何も知りませんでした。この林間をきっかけに、今までの何倍もの知識を得ることができました。今後も少しの人にでもいいから、この人達の悲しみを伝えていきたいです。

◆M9.0、震度6弱の地震で、その被害を受けた物や場所は、僕も実物をいわき震災伝承みらい館で見てもすごく辛いものだなと実感しました。(中略)この地震は絶対に風化させてはいけないので、今生きている僕たちが下の世代に広められることができたらいいなと思います。

過去の震災から謙虚に学ぶ姿勢、そして震災を「伝えていきたい」「広められることができたら」という熱い思い。未来へ繋げる何と素晴らしい思いなのでしょうか。南流山中の子ども達は私達の誇りです。

19年ぶりに戻ってきた南流山中は以前と変わらず、子ども達を中心に据え、子ども達の成長のために全力で向き合ってくださいる保護者の方々、そして学校を、子ども達を温かく見守ってくださる地域の方々に囲まれた最高の学校でした。1学期の間のご理解、ご協力に改めて深く感謝申し上げます。

我々大人は子ども達がどんな状況のときでも、徹底して子ども達の「応援団」でなければならないと思います。南流山中の子ども達は、我々教職員にとってだけでなく、保護者・地域の皆様にとっても大切な宝物。明日からの夏休み、子ども達への声かけ、見守りをどうかよろしく願いいたします。

1学期を終えて、夏休みへ



1学期が終わりました。4月に279名の新入生を迎え、全校生徒694名での生活が始まりました。新入生歓迎会、南流クエストを経て、新入生も少しずつ中学校の生活に慣れてきました。

5月、3年生にとって最大の行事でもある修学旅行。G7サミットを終えたばかりの広島、京都への旅行でした。たくさんの学びを得て帰校しました。平和学習では、広島で学んだことを発表を通して後輩にも伝えてくれました。

6月、2年生の林間学園。天候にも恵まれ、震災学習、キャンプファイヤー、体験学習、会津巡りなど学びの多いものになりました。部活動の大会でも多くの素晴らしい姿を見せてくれました。夏休みは、改めて自分と向き合うときでもあります。学習や部活動だけでなく、日頃できないことにもたくさん挑戦してほしいと思います。

そして、9月1日(金)にパワーアップした姿で登校してくれることを願っています。保護者の皆さまも、1学期の間、学校へのご協力ご支援ありがとうございました。